



1月
の
御
書

行学の二道をはげんで
いきなさい。
てしまえば、
仏法はが絶え
なつてしまひます。

意味

「諸法実相抄」

行学の二道をはげみ候べ
し。行学たえなば仏法はあ
るべからず。

御文

(御書新版1793ページ、御書全集1361ページ)

心を強く、優しく、大きくする

ボクはライオン博士のキング君。みんな、あけましておめでとう！ボクね、新しい年の始まりに目標を立てたよ。世界のお友だちと仲良くなりたいと思って、毎日、少しずつ英語を勉強しようと決めたんだ。みんなも夢に向かってチャレンジしていることはあるかな？

だけど、チャレンジには試練がつきもの。「今日は休んじゃおうかな」なんて、やる気がしぼんじゃったり、「やっぱり無理かも」と、くじけそうになったりするよね。

そんな時、自分のなかの弱気に勝つために、ボクたちは信心で心をきたえているんだ。日蓮大聖人は、心を強く育てる方法について教えてくださっているよ！

それは「行」と「学」の2つに、はげんでいくことなんだ。「行」とは、お題目を唱えたり、周りの人のために行動すること。「学」は、仏法を学ぶこと。今「師子王御書」を読んでくれているみんなは、「学」がバツチリだね！



「行」と「学」の両方をコツコツ続けていくことが、自分の心を強くする。試練に負けない自分をつくるんだ。

たとえば、お題目を唱えると「がんばるぞ！ やってみせるぞ！」って勇気が出るよね。これが「行」のパワー！ 友だちを大切にすると、心が温かくなるよね。これも「行」のパワーだよ！

それから御書や、池田先生の言葉を学ぶと「ボクたち、わたしたちには、世界を平和にする大切な使命があるんだ！」と分かって、心がグーンと広がる。これが「学」のパワー！

心が強く、優しく、大きくなる。これが、ボクたちが信心にはげむ、いちばんの意味なんだよ。

そして、自分自身が幸せになり、だれかの役に立つ、だれかを幸せにできる人へ成長することこそ、仏法が説かれた目的なんだ。

池田先生は「思いきって勇気を出して、ぶつかってみることです。途中で休んでもかまわない。また新たに始めればいい。そのたゆまぬ前進こそが、日々新たなる太陽のように、自分自身をかがやかせていく大きな光となるからです」と語られたよ。

今年も、みんなといっしょに御書を学びながら成長できることが、とっても楽しみ！ 心を太陽のようにかがやかせ、自分も周りも明るく照らしていこう！